

**製品名:** インテグリン  $\beta$ 1 (リン酸化 Thr788) ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab04851

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	135kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ITGB1
別名	ITGB1; FNRB; MDF2; MSK12; Integrin beta-1; Fibronectin receptor subunit beta; VLA-4 subunit beta; CD antigen CD29
遺伝子 ID	3688.0
SwissProt ID	P05556
免疫原	抗血清は、Thr788 のリン酸化部位周辺のヒトインテグリン $\beta$ 1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 749-798

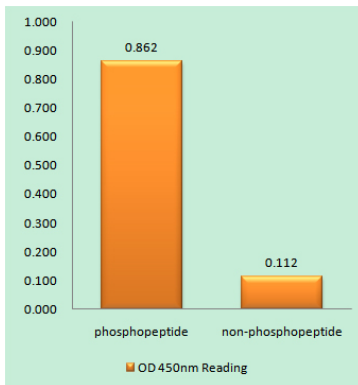
## 背景

CD29は、130 kDの単鎖I型糖タンパク質で、インテグリンβ1、VLA-β鎖、またはgp11aとしても知られています。白血球（顆粒球にも低レベルで発現）、血小板、線維芽細胞、内皮細胞、上皮細胞、肥満細胞など、造血細胞および非造血細胞の大多数に広く発現しています。CD29はインテグリンファミリーに属し、インテグリンα1-α6鎖と非共有結合して、それぞれVLA-1分子からVLA-6分子を形成します。CD29を含むインテグリンは、いくつかの細胞表面分子（例：VCAM-1、MadCAM-1）および細胞外マトリックス分子に結合します。CD29はフィブロネクチン受容体として機能し、様々な細胞間および細胞-マトリックス相互作用に関与しています。

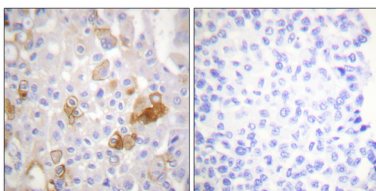
## 研究分野

軸索ガイダンス、接着斑、ECM-受容体相互作用、細胞接着分子（CAM）、白血球の内皮透過移動、アクチンと細胞骨格の調節、病原性大腸菌感染、がんの経路、小細胞肺がん、肥大型心筋症（HCM）、不整脈性右室心筋症（ARVC）、拡張型心筋症。

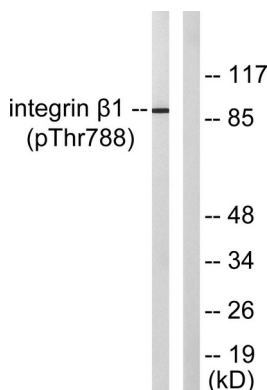
## 画像データ



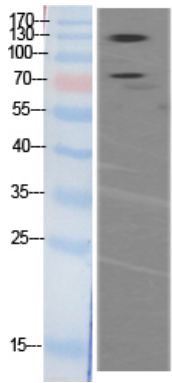
インテグリンβ1（リン酸化Thr788）抗体を用いたリン酸化ペプチド（リン酸化左）および非リン酸化ペプチド（リン酸化右）免疫原の酵素結合免疫吸着測定法（リン酸化ELISA）



インテグリンβ1（リン酸化Thr788）抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



UV 15 処理したHeLa細胞ライセートのインテグリンβ1（リン酸化Thr788）抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



**Integrin  $\beta$ 1 (p-T788)**

ホスホインテグリン  $\beta$ 1 (T788) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタン  
ブロット解析